

「一人暮らしの息子の食生活を心配する母からの仕送り」

乾燥野菜

インターンシップで商品開発

麻生さん(経済3)

ベンチャー企業の大学
生インターンシッププロ
ジェクトに麻生萌泉さん
(経済3)が参加してい
る。ここで開発した商品
が6月、発売された。商
品は、「一人暮らしの息
子の食生活を心配する母
からの仕送り」をコンセ
プトにした乾燥野菜。商
品名は「息子への野菜」
で、大学生ならではの視
点を取り入れた商品は、
取り組んだ。



販売中の「息子への野菜」を手にする麻生さん

横浜市内の卸売り・小売
りのベンチャー企業でイ
ンターンシップを始め
た。商品の企画・開発・
販売までを大学生が行う
プロジェクトに、東大、
慶大などの学生計5人で
自分たちの身近にある
課題などから「野菜不
足」「親からの仕送り」
などに着目。「一人暮ら
しの友人の話を聞くと、
実家から野菜を送って
もらっても食べきれない
などの声がたくさんあ
った」と麻生さん。乾燥野
菜の商品化を決め、全国
からサンプルを取り寄せ
て食べ比べ、産地や食感
などで決定した。商品は
乾燥した小松菜、キャベ
ツ、ワカメなどで、保存
がきき、お湯で戻すと5
倍に膨らむ。カップ麺や
みそ汁にプラスするだけ
の手軽さだ。

外国人の日本語習得の
ための「夏期日本語・日
本事情(JLIC)プログ
ラム」が6月17日から始
まった。
受講生は、国際交流協
定校のオレゴン大学(米
国)など9大学41人。昨
年6月に協定を結んだタ
イ商工会議所大学(UT
CC)から初めて学生8
人が来日した。

UTCCが初参加

夏期JLICプログラム

8月7日まで国際交流
会館に滞在し、日本語学
習のほか、書道、七夕パ
ーティーなど日本の文化
に触れる。
6月19日は開講式とウ
ェルカム・パーティーが
生田キャンパスで開か
れた。参加者は日本語自
己紹介をした。



UTCCのジャレット・ウィスウィットさん(右)は「日本の生活はとても楽しい。日本語の授業は難しい時もあるが、勉強になる。アウトラブが好きなので、機会があれば日本の山に登りたい」と話している。

コミュニケーション
力になることを願ってい
る。
長期インターンシップ
では他大学の学生や社会
人との共同作業が刺激に
なった。「メンバーが得
手不得手を補い合い、力
を發揮することができ
た。モノがあふれている
現代で商品開発し、購買
力を実感するなどの、
ビジネスの現場に立った
ことで、自分の将来をよ
り深く考えるようになった
」と語る。今後この
グループで新たな商品開
発を目指している。
新商品「息子への野
菜」はamazonで販
売。定価1000円。

MOS世界学生大会エクセル1次選考



酒井さん(商4)3位

全国の大学生、高校生
ら延べ7万1000人が
参加してパソコン操作技
能を競う「MOS世界学
生大会2019」で、酒
井悠汰さん(商4)がエク
セル科目大学・短大部門
の1次選考で3位に入賞
した。公務員試験突破を
目指している酒井さん
は、「世界が広がった」と笑顔
の酒井さん

は、採用試験と重なるた
め2次選考にはエントリ
しなかったが、「就活
に弾みがつき、世界が広
がった」と話している。
MOSは「マイクロソ
フト・オフィス・スペシ
ヤリスト」のこと。大会
はマイクロソフト社のオ
フィス製品「ワード」や
「パワーポイント」など
の操作・技能を競う。
商学部会計学科の酒井
さんは、3年次の時、就
職活動に生かそうとMO
S資格のエクセルスペシ
ヤリストレベルを取得し
た。成績が優秀だったこ
とで通っていたパソコン
教室から推薦があり今年
4月のMOS大会に出場
した。

相撲部員とハッケヨイ

多摩校の丘学園生が訪問

地域とともに

7月8日、都立多摩校
の丘学園(東京都多摩市)
の知的障害教育部門中
学部1年生が
生田キャン
パスの相撲
道場を訪
れ、相撲部
の稽古を見
学、相撲体
験に汗を流
した。



同学園で
は日本の伝
統文化につ
いての学習
を行っている。初めて本
学相撲部を訪問した。
同日は生徒と教員ら36
人を、戸田圭介主将(商
4)ら部員5人が迎え
た。生徒らは部員ととも
に四股やすり足など基本
運動を行った後、数人に
分かれて部員との勝負に
挑んだ。力を合わせて1
00kg超の部員を土俵外
に押し出すと「やった」
と大きな拍手が湧きあ
がった。また、部員同士
のぶつかり稽古では、迫
力を感じていた。
最後に部員によるちゃ
んこも振る舞われ、生徒
たちはおいしそうにほお
ばっていた。

黒門祭 梅雨空吹き飛ばす

第53回黒門祭が6月28日から30日
まで、生田キャンパスで開かれ、学
術文化会に所属する23団体が日ご
ろの研究、活動の成果を発表した。
成果物を展示したほか、音楽系サー
クルは演奏会を開き、来場者を楽
しませた。



フォルクローレを演奏する中南米研究同好会



【右上】バンド演奏を披露した混声合唱団カップコーラス部
【右】鉄道研究会の「てっけんフェスタ」には多くの来場者が訪れた
【上】力作が展示されたカメラクラブの作品展示